

授業実践の記録

7年 特別の教科道徳

「小さな命」～熊本地震関連教材『つなぐ』～

- ・人間のみならず、他の生命を守るために自分たちにできることは何かを考える時間の設定
- ・非常時にもかかわらず、動物の命を守り飼い主を支えようとする獣医の思いを考える
- ・無報酬で動物の命を助け、飼い主を支えようとする獣医の信念を通して、人間のみならず他の生命を守るために自分にできることを考える

授業の様子



地震後に動物と飼い主のために動き続けた獣医の思いについて考え、意見交流、発表をしている様子。
【生徒の意見】「ペットと離れることは家族がいなくなること」、「命の重さは変わらない」、「ペットを助けることで飼い主も笑顔になる」など

○地震後、徳田さんが行動し続けたのは、どのような思いがあったからでしょうか？

動物も一緒に助けた。餌もペットと一緒に行きつづけた。いなくなることは家族がいなくなることも感じていた。助けられる命は助けた。ペットも助けてあげた。動物も一緒に生きていける。動物の命を守る。○人の命や動物の命を守るために、自分ができるとは何か考えてみました。

○地震後、徳田さんが行動し続けたのは、どのような思いがあったからでしょうか？

動物を助けた。人間とペットは家族だから一緒に助けてあげたい気持ち。人間と動物は平等に助けてあげたい。ペットが死んでしまうと家族が悲しい。○人の命や動物の命を守るために、自分ができるとは何か考えてみました。

○地震後、徳田さんが行動し続けたのは、どのような思いがあったからでしょうか？

動物を助けた。人間とペットは家族だから一緒に助けてあげたい気持ち。人間と動物は平等に助けてあげたい。ペットが死んでしまうと家族が悲しい。○人の命や動物の命を守るために、自分ができるとは何か考えてみました。

授業で使用するワークシート

人の命や動物の命を守るために自分ができることは何かを考える活動

【生徒の考え】「避難グッズにペットの食料も入れておきたい」、「自分は動物が苦手だが、災害が起こった時には動物のことも考えたい」、「避難場所を事前に把握し、自分だけでなく周囲の場所を知らない人に教えて助けたい。」など

〈参考資料・教材等〉

熊本地震関連教材『つなぐ』活用事例集 熊本地震の際のペットの様子の写真